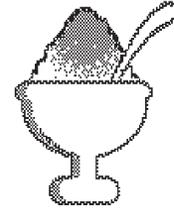


社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

絆

きずな

第65号 7月号
購読料1部100円
(会員は会費に含まれています)



ホームページアドレスが変わりました!

発行：社団法人日本自閉症協会 発行責任者：宍戸良朗
支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10
TEL&FAX 0743-55-2763

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

夏のセミナー紹介

★国治研海外セミナー

●米国

自閉症児・者のためのノースカロライナ TEACCH
プログラム視察研修

コーディネーター：川崎医療福祉大学医療福祉
学部教授ノースカロライナ大学医学部精神科
TEACCH 部臨床教授 佐々木正美先生

研修期間：2003年8月5日(木)～8月14日(木)
10日間

研修地：米国ノースカロライナ州チャペルヒル・
シャーロット。旅行費用：¥565,000

●米国

低年齢から学齢時にいたるまでのトータルなコ
ミュニケーション指導の実際を体験する視察研修
コーディネーター：

のぞみ発達クリニック所長 津田 望先生

研修期間：2003年8月16日(土)～8月24日(日)
9日間

研修地： 米国ノースカロライナ州サクラメント
近郊、アナハイム

旅行費用：¥460,000程度を予定

●欧州

経度障害を持つ子どもの教育実践現場視察研修

コーディネーター：日本LD学会事務局長/明治
学院大学教授 下司昌一先生

研修期間：2003年8月20日(水)～8月30日(土)
11日間

研修地：

デンマーク・スウェーデン・オーストリア

旅行費用：50万円代後半を予定

★国治研国内セミナー

●2003年7月

リタ・ジョーダン先生による「優れた」(ベスト
プラクティス)自閉症・アスペルガー教育プログ
ラムセミナー

東京会場：2003年7月19日(土)・20日(日)
星陵会館

大阪会場：2003年7月21日(月・祝日)
大阪朝日生命ホール

受講料：¥24,000 バーミンガム大学教育学部
教授リタ・ジョーダン先生・よこはま発達クリニッ
ク児童精神科医/大妻女子大学人間関係学部助教
内山登紀夫先生(東京) あいち小児科保健医療
総合センター心療科部長兼保健センター長杉山登
志郎先生(大阪)

●2003年7月

佐々木正美先生による「TEACCHの基本原則から
実践応用まで」

2003年7月30日(水)・31日(木)
科学技術館サイエンスホール

受講料 ¥21,000

川崎医療福祉大学医学部精神科ノースカロライ
ナ大学医学部精神科 TEACCH 部臨床教授 佐々
木正美先生

●2003年11月

テオ・ピーター先生による TEACCH セミナー

東京会場：2003年11月22日(土)・23日(日)
星陵会館

大阪会場：2003年11月24日(月・祝日)

大阪朝日生命ホール

受講料予定東京2万4千円

大阪1万3千円

ベルギーアントワープ自閉症センター所長テオ・ピーターズ先生・佐々木正美先生

《資料請求・お問い合わせ・お申込み》国際治療教育研究所資料請求係

〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-15

赤坂OSビル1階

TEL: 03-3586-3240

fax: 03-3505-2959

e-mail: info@iiet.co.jp

★自閉症者の社会参加推進フォーラム

日時:

平成15年8月10日(日) 10:00~16:30

場所: つくば国際会議場(エポカルつくば)1階
多目的ホール: 茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

電話 029-861-0001(代) 東京駅八重洲口より高速バス「つくばセンター行き」で65分、
終点より徒歩5分

参加費 ¥2,000円

参加費納入の方には、当日資料及び年度末発行の報告書をお送りします。

お弁当(希望者) 1,000円

交流会費(フォーラム終了後) 5,000円

○「シンポジウム1

自閉症者の適職開発(10:00~12:00)

現在、地域で働き、生活している自閉症者のこれまでの育成の具体的事例発表を通して、自閉症者の就労支援に必要な気配りとポイントを明らかにし、これからの要望につなげます。

司会 松為信雄(障害者職業総合センター主任研究員)

シンポジスト: 石井のり子(日立電線ロジテックに19年勤務する38歳の自閉症者の母) 高橋エイ子(元高校教諭 理学療法士の資格を持つ37歳の自閉症者の母) 細川紀久子(パソコンプリントの工房を36歳の自閉症者とやっている母) 堀内恵子(お菓子づくりの工房を27歳の自閉症者の双子の姉妹とやっている母)

○シンポジウム2

就労の支援とこれからの課題(13:00~15:00) 社会人経験・父親経験・就労支援経験のある父親と専門家で、自閉症者の社会参加の必然性とそれを阻害しているもの、これから必要な社会サービスの問題を提起します。

司会 野沢和弘(毎日新聞社記者 自閉症児の父親)

シンポジスト: 松為 信雄(障害者職業総合センター主任研究員 早稲田大学非常勤講師) 朝日雅也(埼玉県立大学 保健医療福祉学部講師) 高橋通方(元高校教諭 静岡県支部顧問)

津田明雄(NPO クローバー 会長・日本自閉症協会ホームページ委員会委員長) 細川義和(元企業内生産技能研修所教授、自閉症職場の技能開発・指導者、父親),

○シンポジウム3

自閉症者の社会参加(15:10~16:40) 自閉症児者が生き生きと生活していくためには、仕事以外の力の拡大や能力の発見も必要です。社会参加という広い視点からの余暇の過ごし方や活動のあり方を事例を通して探ります。

司会 朝日雅也(埼玉県立大学 保健医療福祉学部講師)

シンポジスト: 於保真理(神奈川工科大学福祉システム工学科、湘北短期大学等、非常勤講師) 浜松恵子(自閉症者の音楽活動自遊塾主宰 ノースカロライナ TEACCH にて研修) 増井紀子(障害児者の水泳教室おたまじゃくしの会世話人、双子の自閉症者の母) 堀内恵子(自閉症児者のスポーツ教室設立、21年間世話人 双子の自閉症者の母) パネル展示及び製品紹介活動状況の写真と製品

★知的障害児のための性教育

ファシリテーター養成講座

講師: バーバラ・ベイン カナダ: Sunny Hill Health Center for Children

期間 7月24・25・26日

午前9時30分~午後4時30分

場所: 24/25 東京ウイメンズプラザ会議室 26日 大向区民会館(渋谷より徒歩10分)

費用: 2万円

申し込み：peace 暴力防止トレーニングセンター
Tel0424-90-0900fax0424-90-1151
締め切り 7月 20日（事務局にチラシ有り）

会員紹介（療育部編）

堀部 朱音（ほりべ あかね） 7才 小学2年

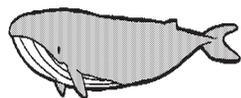
父、母、妹（3才）の4人家族です。

三才を過ぎても2語文が出ず、おうむ返しが多いのは、マイペースだからだと思って育てていた所へ、3才半検診の結果、発達検査を勧められ、「なぜ？」という反発したい思いと、マイペースなのには理由があるの？という不安な気持ちで一杯でした。

幼稚園入園の頃には、やっと親も自閉症というものができるまでになり、幼稚園の先生方の温かいご指導もあり、おうむ返しは消え、お友達とのコミュニケーションも少しずつですがとれるようにまで成長しました。

現在普通学級にて、他のお子さんたちと一緒に学んでおりますが、やはり、お友達と意思の疎通ができていないときもあるようです。先生が一日の出来事を細かに報告してくださるので、本人の学校での様子が手にとるようにわかり、とてもありがたいと思っています。

とにかく、「楽しい毎日を送ろう」が我が家の目標です。



成人部・療育部合同部会 報告

6月24日（火） 午前10時～12時

大和郡山福社会館にて成人部・療育部の合同部会を行いました。当日は雨の中、成人部4名 療育部14名の出席を頂きました。

今回は会員のお父さん代表？でもある田川 良一さんがお忙しい中、出席して下さいました。以下の文章は、田川さんが聞いて下さった会員

さんの声などです。

田川さん原稿ありがとうございました。

目的

新しい会員さんの声を聞く。（話を聞いてあげる）体験談を話し、互いに理解を深め今後の自閉症協会を盛り上げていくために、何をすれば良いか？

○当日の声

- ・子供が二人では将来、健全な兄弟のみに負担になる。だからもう1人、子供がほしいと希望するが、身内が「今でも大変なのにやめたほうが。」と言う。
- ・子供が「腹へった」の感覚が解らず？理解できず？気分が悪くなる。どうしてあげたらいいのかわからない・・・
- ・中学校の進学問題、養護学校か地域の学校か？
- ・思春期の男女問題 など今、抱えている悩み、問題をみんなで考えました。

☆今後の問題

成人部については作業所、小規模作業所と2ステップを考えなければならない。同時に支援制度の理解を深め、より良い方向性をもってゆかなければならなりません。山ほどの課題があります。それをいつ、どこで、何を、どのように、誰がしたのか明確に進めないと大変に困難だと思います。療育部は話を聞く親、子供達の和を作り、楽しくわきあいあいと。

もう一つは教育部の専門部を作ってほしいと希望します。自閉の専門、学校の専門（具体的に親はどうしたらいいのか？）

支援制度の専門

・私のひとり言

私の娘も大淀養護高等部1年になり、これからグループホーム、作業所などを作ってやるぞ！と思っていましたら養護学校のイメージが・・・

私のイメージと全て違い「あかん」と感じる今日この頃。娘の名前は明子と書いてハルコと読んでもらいます。カワイイでしょ。本当にカワイイのです。（子供3人ともカワイイけど）16年色々ありました。色々あったおかげで知

人、友人があふれるほど多くできて幸福ものです。皆様にも、その幸福をわけてあげるよ。考え方の問題・・・人は何によって幸福を感じるのか？今を悔いなく、後悔せず、失敗をおそれず前を向いて行こうと。全ては自分の家族が幸福になるために。

私がいつも思うこと・・・自閉の娘は何を考えているのかナー。空想の中でニコニコ。毎日大変だろうなーと思っています。肩をさわるとカタク、毎日毎日、緊張の日々を送っているのかと思うとつらいです。でもそんな彼女の笑顔は幸福につながっているように思えて、ガンバロウと・・・私かもしアフリカとかブラジルの原住民の人達と一緒に生活したら、テレビじゃないけど本当にあんなにスムーズにいくのかなーと思ってしまう。

まあ私はどこでも生きていく自信はあるが精神的にはやはり大変だと思う。日本に生まれ、その地域で生活しているが彼女はある意味、異邦人？私達はそれをどう受け止め、どう共に生きていけるのか？他人は色々言うが、自分は他人のことを色々言わないのか？

どうもすみません。ほんのひとり言ですから・・・

田川 良一

6月 27日 連絡帳より

豆山の郷でお茶を習っていますが、こちらからボランティアさんに美穂のプロフィールと自閉症について書いた物を渡したら、改めて全員に、プロフィールと要望を書くことになりました。

茶道の先生に何も口出しすることはないのですが、ボランティアさんに手順書を使ってもらえないかと頼みました。子供用に書いた茶道の本を取り寄せて考えてくださると、今日ボランティアさんから電話がありました。ありがたいことです。

療育部 藤原 栄子

「お薦めの1冊」

『自閉症の TEACCH 実践』

佐々木正美：編 岩崎学術出版社

定価：3,600円＋税

今や、自閉症児たちにとって TEACCH の有効性は、自閉症に関わるものにとって誰も否定できないくらい、周知の事実として認められるようになってきたように思います。全国各地でその TEACCH の実践は、野火が広がるように施設や学校、家庭で取り組まれるようになってきました。もちろん、“TEACCH プログラム”という観点から見た場合には、この本の第1章で内山登紀夫先生が述べられているように行政や学校・職場、家庭との連携のもとに実行される包括的プログラムであって、日本で行われている多くの実践は“TEACCH メソッド (TEACCH 的技法)”ということになるでしょうね。

TEACCH のすごいところ、特徴的なところは、この TEACCH メソッドの、それも「さわりの部分」だけでも、自閉症児にとっては顕著な効果が現れることではないでしょうか。

いみじくも、この本の第11章「家庭での TEACCH の実践」は、(育てる会のお母さん方の中にも参加された方がいらっしゃると思いますが)毎月川崎医療福祉大学で行われている「佐々木セミナー」に参加されているお母さん方が、その講義を聴いて家庭で実践して効果のあった・・・というアンケートのまとめが中心です。

それまで、TEACCH を全く知らなかったというお母さんでも講義を聴いただけで、見よう見真似で効果をあげられる・・・我が家も10年近く前、小学校入学当時に実行してみて実感した効果です。

しかし、その表面的な技法だけに満足して、安易に“道具”“としてだけ使っていると、思わぬ落とし穴もあるようにも思います。確かに視覚優位な我が子たち、構造化やスケジュールに慣れてくると、パニックも少なくなり安定して暮らせるようになれます。その一方で、出されたカードの指示には“思わず”従ってしまう傾向にありますね。素直といえば、素直で(だからこそ TEACCH のさわりのだけでも、充分効果が発揮できるのですが)可愛いのですが、もしそれが意に沿わぬ指示ばかりだったとしたら、・・・やがて臨界点に達した素直さは、破綻してしまうのではないのでしょうか。

思春期近くなって突然崩れだしてコミュニケーションの手段を持てるようにすること・・・カードは早く本来の持ち主である子供たちに返して、

指示して動かすのではなく、本人の意思を聞いてあげる手段としてやりたいですね。

この本には、他にも京都市児童福祉センターや、横浜各地の地域療育センター、やまびこの里、大阪自閉症支援センターなど全国各地からの、ホントのTEACCHの実践が紹介されています。図や写真も豊富で、療育現場や家庭でつかえそうなヒントもみつけれられると思います。

第1章で内山先生がわかりやすく説明しているTEACCHの9つの基本理念、改めて読み直して、実践の際の座右の銘としておきたいですね。

1. 自閉症の特徴を理論よりも、実際の子供の観察から理解する。
2. 親と専門家の協力
3. 子供に新たなスキルを教えることと、子どもの弱点を補うように環境を変えることで、子どもの適応能力を向上させる。
4. 個別の教育プログラムを作成するために正確に評価する。
5. 構造化された教育を行う。
6. 認知理論と行動理論を評価する。
7. 現在のスキルを強調するとともに、弱点を認める。
8. ジェネラリストとしての専門家。
9. 生涯にわたるコミュニティに基盤をおいた援助。

(「岡山県自閉症児を育てる会 会報51号」2002.7より)

目次

序	TEACCHとの20年 佐々木正美
第1章	TEACCHの考え方 内山登紀夫
第2章	診断・相談 村松 陽子 ～指導精神科外来での診断・相談
第3章	幼児通所プログラム(1) 安倍 陽子 ～家族と協力して、ネットワークを築き、生活支援を目指す
第4章	幼児通所プログラム(2) 藤岡 紀子 ～ひよこ園の取り組みの歴史
第5章	学校教育プログラム

浅井 郁子

～特殊学級での取り組みをとおして

第6章 成人入所施設においてTEACCHの
アイデアを生かす 藤村 出

～横浜やまびこの里の地域生活支援シス
テム VISUAL

第7章 自閉症の人たちが暮らすグループ
ホーム 中村 公昭

第8章 福岡教育大学附属障害児治療教育セ
ンターにおける実践

納富 恵子

～サービスモデルの開発と自閉症児と家
族の変化を中心に

第9章 家庭と地域(1)
新澤 伸子

～NPO 法人大阪自閉症支援センターの
歩みを振り返って

第10章 家庭と地域(2)

幸田 栄

～クリニックから

第11章 家庭でのTEACCHの実践

岡野 早苗

第12章 日本における普及・研修

藤岡 宏

～TEACCHプログラム研究会の歩み

*岡山自閉症児を育てる会のHP担当の鳥羽俊郎さん(HP てっちゃん通信・teppey君のお父さん)より許可を頂き掲載しました。

★事務局から

奈良県福祉部障害福祉課長・奈良県福祉部健康局健康増進課長名で「奈良県新障害者計画策定にかかる圏域別団体懇話会の開催について」の案内が来ています。自閉症協会奈良県支部としても、各地域に分かれて参加し意見を発言できたらと考えています。

1 圏域別開催日時等

①中和圏域開催

日時：平成15年8月5日(火) 13:30～

場所：広陵町「さわやかホール」大会議室。

②北和圏域開催

日時：平成15年8月6日(水) 13:30～

場所：奈良県庁5階 第1会議室。

③南和圏域開催

日時平成 15 年 8 月 8 日 (金) 13:30 ~

場所: 大淀町役場 3 階会議室

2 議題

- ①障害者アンケート調査結果の概要について
- ②支援費支給決定等状況調査結果の概要について
- ③新長期計画の策定方針及び策定スケジュールについて

④奈良県障害者施策推進協議会・専門部会の検討内容について

⑤意見交換

3 その他

・会場収容人員の都合等がございますので、誠に恐れ入りますが、別紙により事前にご出席者をお知らせください。要約筆記、手話通訳のご希望があれば、併せてご記入ください。・FAX (0742・22 - 1814) にて 7 月 24 日 (木) までをお願いします。(用紙事務局にあり)

★奈良県障害者協議会主催

奈良県のあたらしい「障害者基本計画」策定にむけて「基本計画」に私たちの声を

日時: 2003 年 8 月 17 日 (日) 13 時 ~ 16 時 30 分

会場: 奈良県文化会館第 3 会議室

内容: 要求の交流と県への「要望書」の検討

問い合わせ: 奈良教育大学付属小学校障害児学級

TEL 27-9284 事務局

★第 38 回 NHK 障害福祉賞募集

6 月 20 日 (金) ~ 8 月 20 日 (水) 昨年は自閉症のお子さんの作品が佳作入選しています。

要項は事務局にあります。

問い合わせ NHK 厚生文化事業団 〒 150-0047 東京都渋谷区神山町 4-14 第三共同ビル 6F

TEL 03-5454-1818 fax03-3481-7674 ホームページ <http://www.npwo.or.jp>

★本の紹介「自閉症児の教育と支援」全国知的障害養護学校長会編 東洋館出版社自閉症の理解と診断をはじめ、幼児期から学齢期、青年・成人にわたる各ライフステージに応じた教育・支援の具体的な在り方を 130 名の執筆者が情報を提供。

1 章 新たな自閉症教育の方向 2 章 教育と支援の視点 3 章 教育と支援のポイント 4 章

自閉症児の教育の基本 5 章 教育と支援の具体的な方法 8 章 就学前の指導と支援 7 章 学齢期の指導と支 8 章 小学生の指導の実際 9 章 中学生の指導の実際 10 章 高校生の指導と支援 11 章 卒業後の支援 12 章 新たな教育の試み 13 章 親から教育への提言 14 章 最近の動向 15 章 自閉症教育の展望

A5 判・並製・400 ページ・定価 (本体価格 3000 円+税) をチラシで申し込むと特価 2500 円 (税込) ※チラシ事務局にあり。ファックス・メールでご注文ください。(5 冊以上で送料無料となります。) 担当 柳沼 希世子 (Tel03-3253-8823.fax03-3252-1757)

★絵でみるレインマンのエピソード集わかってもらえますか自閉症 (本の紹介)

長野県 自閉症の子の 親たちからの発言

『わかってもらえますか!』絵で見る自閉症子育てエピソード集 22 話 A4 版 37 ページ 自費出版: 著者自閉症の子の母たち 絵 蔵之内 睦美 発行: 社団法人日本自閉症協会長野支部 一部 400 円送料別

連絡先: 〒 399-7102 長野県東筑摩郡明科町中川手 3820 番地

TEL 0263-62-3088 fax0263-62-3085

★問題行動をどう受け止めるか (本の紹介)

「問題行動は自閉症の人たちからのサイン」東京都支部 2002 年成人部会講演記録 篁 (たかむら) 一誠 社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまた工房

A4 版 50 頁 500 円送料別、申し込み郵便か fax 〒 162-0051 東京都新宿区西早稲田 2-2-8 全国心身障害児福祉財団ビル 3F 日本自閉症協会東京都支部 fax03-3232-6169

編集後記

梅雨だなーと思うこのごろです。緑がいつそう濃くなり、虫も見ることができました。さて 7 月暑い夏がそこまで来ています。体調にご注意を! 支部ニュースについての感想、ご意見等がありましたら、穴戸 (0742-49-3855) までか、または、最寄りの支部役員までお願いします。

集団キャンプの参加者募集

平成 15 年日本自転車振興会補助金事業（夏のキャンプの補助金とは別です）の、1泊2日の集団キャンプの補助金対象に奈良県支部がなりました。交付先よりの実施要領に基づいて以下のように計画いたしました。

- [開催日] 2003年 11月22日(土)～23日(日) 1泊2日
- [開催場所] いこいの村大和高原
奈良県山辺郡都祁村針3918 TEL 0743(82)1331
- [参加対象] 全日程参加できる療育部・成人部 親子(2人)
(兄弟の参加はできません 講師・医師・看護師等14名の参加予定)
- [参加費] 宿泊費・交通費の補助をします・参加費未定
- [定員] 20組まで
- [日程] 多少の変更あります

11月22日(土)

11:00	2箇所集合 奈良～天理 バス移動
12:00	いこいの村にて 昼食
13:30	オリエンテーション
14:00	ゆうゆうランド パターゴルフ・ローラースケート (いこいの村) *余暇活動指導
17:00	チェックイン
17:30	夕食・入浴
21:00	懇親会
22:00	就寝

11月23日(日)

7:00	起床 朝食
8:00	観光バスにて出発
9:30	↓めいめい牧場 ↓羊毛館・なべくら溪 森林博物館等 ゆうゆうランドへ戻る
11:30	自家用車・又はバスにて 帰宅 途中・各自で昼食予定
13:30	各集合場所着 天理・奈良

申込、問い合わせ 北部 和知 0743-79-5502
南部 木村 0743-67-0209
締め切り 8月31日